

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 30 年 4 月 2 日

仕事の内容	ケアラー支援事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	地域包括ケア推進	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者保健福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業 4	高齢者日常生活支援事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ケアラー(介護を要する者の介護を無償でしている者)及び介護を要する認知症の者、高齢者等					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 不明			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・孤立を防ぎ、その悩みや不安が軽減されている ・必要とされる支援につながっている ・認知症や介護に関する情報を得ることができている					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → ・こころの相談利用者数(利用者8名、相談延件数8名) ・ケアラースカフェ利用者数(参加者数101名) ・講演会等参加者数(参加者数85名)			
	③ そのために何をしましたか。 ①こころの相談(介護に対する気持ちの整理方法、認知症への不安や悩み等の相談を予約制で実施) ②ケアラースカフェ(それぞれの不安や悩みを話し合うと共に、認知症・介護に関するミニ講座を楽しむことができる交流の場) ③講演会等(認知症の症状や介護一般に関する情報を提供する講演会等を実施)					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ①事業実施時間内に常時受付 ②12回(月1回) ③2回			

2 指標の推移		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	—	—	—	—
	成果指標	②の数値	人	—	90	194	—
	目 標	②の目標値		100	250	250	250
	目標値設定の考え方	相談年間実利用者数20名、カフェ1回あたり参加者数15名(平成29年度から講演会等1回あたりの参加者数25名を追加)					
	活動指標	③の数値	回	—	①常時受付 ②6回	①常時受付 ②6回 ③2回	—

3 経費	事業費(実績)		円	2,311,800	4,494,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	
		特定財源	円	2,311,800	4,494,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	1,240,050	2,475,900		
職員人件費(再任用)		円				
事業費+人件費		円	0	3,551,850	6,969,900	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成28年10月から、ケアラー及び介護を要する者の住み慣れた地域での生活を支援し、福祉の増進を図ることを目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	ケアラースカフェ参加者から、今カフェを実施している木曜日以外の曜日や働いている人でも参加しやすい土日開催もあると良いという意見が上がった。

仕 事 の 内 容	ケアラー支援事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	地域包括ケア推進	係	課長名	伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	事業の周知強化が課題であったため、平成29年度に事業内容を案内するリーフレットを印刷・配布した。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 ・引き続き事業周知が課題。市民への直接の周知作業が少ない状態にある。 ・ケアラズカフェの開催曜日と開催場所は一つに決まっているため、参加しづらい方もいる可能性がある。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	・地域で行われているサロン活動に参加し、事業内容を案内するリーフレットを市民へ直接配布する機会をつくる。 ・ケアラズカフェの開催曜日と開催場所を他の曜日・場所でも開催ができるか検討する。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 ・市民へのリーフレット配布、カフェを他の曜日・場所での開催ができるか事業委託先と調整が必要。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。